

会報 6号

1974年10月10日

南紀生物同好会

○ 創立25周年にあたって	山本虎夫	1
○ 両生類の生活	玉井済夫	2
○ 薬剤散布が土壤動物に与える影響 耐久高校生物部・土壤生物グループ	代表者 石井義人	8
○ ひどい！ 護摩壇山周辺の自然	乾風登	9
○ 自然愛護 100km テクニカルについて	後藤伸	10
○ 夏の観察会の記録		11
○ 会員移動		13

創立25周年にあたって

山本虎夫

南紀生物同好会を創立して25周年を迎えました。10年ひと昔ということは今日では通用しないでしょうが、いわばふた昔半前に生まれた子どもが今後社会人として次代を背負うて立つ、囁目に値する頼もしい人物であらねばなりません。

創刊号から第5巻までは自力で謄写刷をしました。学校の仕事を終って夜間作業です。毎晩3時すぎまでやりましたが、1号分(60~80ページ)出すのに1日半はかかりました。

とにかく自分でガリ切って、刷って、その上製本、発送をやるわけです。でも楽しいことでした。終戦後混乱した社会の中で、ほんとうに生物の好きなもの同志が語りあえる場であってこそ、戦後の荒廃を少しでも防げたものではないでしょうか。校務は忙しい。家に持つて処理せねばならない仕事も毎日のようにある。でも私の若さが仕事のあとひたすらにガリ切りに専念させたような気がします。

25年前を今静かに振りかえって見ますと、紙不足というより、お粗末な紙を拝むようにして紙屋の厚意で分けてもらったこと。この会誌を後々までも残す文献にしたいという意気込みで、謄写